

第5回協議会の意見

資料2

項目		意見	
第1章	改定の背景	P1	バス路線の厳しい現状とは別に、鉄道の開通や道路、駅前広場の整備によって、足立区全体として交通利便性が向上したことを示せるとよいのではないかな。
			交通手段を持続的に確保していくのはどの主体になるのか、主語を明記した方がよいのではないかな。
			質の高い「暮らし」を実現するためにも、「不便を感じることはないように」するだけで無く、移動困難者の日常生活を支える交通が必要になるのではないかな。
			「不便」という言葉の解釈は人によって違う。不便解消にあたっては、利便性の向上と移動困難者への支援という2つの視点に分けた方がよいのではないかな。
第2章	視点1 公共交通空白地域等への対応	P7	一部、交通空白地域が解消されている地域はあるが、 <u>ただ路線を引けば解消するというのではなく、運行本数等を含めて不便かどうか</u> が問題となるという議論があったはず。この表現では問題は解決済だと見えてしまう。
	視点2 バス計画路線の見直し	P11	<u>前計画でバス路線が位置付けられていた地区で、今回の計画で検討対象外となる地区もある。これらの地区がどのような検討によって対象外となったかを丁寧に説明すべきではないか。</u>
第4章	交通施策と実施事業	—	実施事業について、 <u>区としてどの事業を重点的に取り組むべきと</u> 考えているか、区民に伝わるよう配慮して欲しい。 ←（回答）重点的に取り組む施策については、計画策定後に情報発信を積極的に行い区民にアピールしていく。
	事業 「拠点間バス路線等の維持・強化」	P35	<u>新田、宮城、江北を結ぶ拠点間のバス路線は、駅と結んだ方が利用者の増加が見込めるため、採算性の観点からも良いのではないかな。</u>
	事業 「交通不便地域のバス路線導入」	P36 P41	事業スケジュールで短期モデル地域1カ所となっているが、 <u>はじめから1カ所と決定してしまうのはどうか。</u>
	事業 「自転車走行環境整備」	P42	自転車走行環境整備において、 <u>まずは自転車専用通行帯の整備を目指すべきで、それが難しい場合にナビマークやナビラインを整備するべきではないか。</u>
未記載	財政支援	P24 P36 P41	これまでの協議会で財政支援の議論を行ったが、 <u>計画書の中に反映されていない。財政支援についての内容を計画書の中に盛り込むべき。</u>
	図表	P8等	サンプル数Nの説明があるとわかりやすい。